

労働力調査（詳細集計）
2022年1～3月期平均結果からのベンチマーク人口の切替え
及びそれに伴う過去数値の変更について

労働力調査では、毎月の結果を算出するための基礎となる人口（ベンチマーク人口）として推計人口を用いています。労働力調査（詳細集計）の2022年1～3月期平均結果（5月13日公表予定）から、このベンチマーク人口について、最新の2020年国勢調査結果を基準とする推計人口への切替えを行います。

これに伴い、2022年1～3月期平均結果以降の公表資料に掲載する2021年10～12月期以前の数値を、2020年国勢調査基準のベンチマーク人口に基づく時系列接続用数値に変更します。

○ベンチマーク人口の基準切替え

労働力調査の結果を算出するための基礎となるベンチマーク人口には、「人口推計」^{※1}（総務省統計局）による毎月1日現在の推計人口を用いています。この推計人口は、最新の国勢調査（5年ごとに実施）を基準としており、この度、2015年国勢調査（旧基準）から2020年国勢調査（新基準）への切替えが行われました。

これに伴い、労働力調査（詳細集計^{※2}）のベンチマーク人口についても、2022年1～3月期平均結果から新基準の推計人口へ切替えを行います。

※1 「人口推計」については、右記URLを御参照ください。<<https://www.stat.go.jp/data/jinsui/index.html>>

※2 労働力調査（基本集計）については、2022年1月分結果（3月4日公表予定）から、切替えを行います。

○公表資料に掲載する2021年10～12月期以前の数値の変更

このベンチマーク人口の基準切替えに伴い、2022年1～3月期平均結果以降の公表資料に掲載する、2021年10～12月期以前の比率を除く数値（既公表値）を、新基準のベンチマーク人口に基づく時系列接続用数値に変更します。時系列接続用数値の概要^{※3}は以下のとおりです。

(1) 2020年10～12月期～2021年10～12月期

新基準のベンチマーク人口に基づいて遡及集計した数値

(2) 2015年10～12月期～2020年7～9月期

(1)で求めた2020年10～12月期平均の遡及集計値（新基準）と既公表値（旧基準）とのギャップ（新基準－旧基準）を、各期の既公表値（旧基準）の数値に均等配分した数値（補間補正值）

※3 遡及集計した結果原表及び補間補正值の作成方法の詳細については、2022年1～3月期平均結果公表時にホームページに掲載します。

また、ホームページに掲載している「長期時系列データ」^{※4}の詳細集計の数値についても同様に、2022年1～3月期平均結果公表時に、2021年10～12月期以前の数値を時系列接続用数値に変更します。

※4 「長期時系列データ」については、右記URLを御参照ください。<<https://www.stat.go.jp/data/roudou/longtime/03roudou.html>>

《参考》 今回のベンチマーク人口の基準切替えによる影響

2020年10～12月期平均結果における、遡及値（新基準）と既公表値（旧基準）との差は表のとおりです。ベンチマーク人口の基準切替えにより、新基準の15歳以上人口が旧基準に比べ多くなっており、その影響により就業者数で42万人の差（新基準－旧基準）となっています。

表 主要項目の遡及値(新基準)と既公表値(旧基準)の比較(2020年10～12月期平均)

(万人)

	15歳以上人口	就業者		失業者	非労働力人口
			役員を除く 雇用者		
遡及値(新)	11086	6721	5676	220	4144
既公表値(旧)	11048	6679	5638	219	4150
新-旧	+38	+42	+38	+1	▲6